

公社団地内の ネット予約可能な駐車場数を大幅拡大

大阪府住宅供給公社(大阪市)は11月17日より、同社が所有する公社団地内でネット予約できる駐車場の区画数を大幅に拡大した。2016年から実施した試験サービスが本運用となり、拡大に踏み切った。対象となるのは、吹田、箕面、豊中、池田、高槻、茨木を含む、府内16の市で、駐車場の数は85団地2,800区画。



駐車場の様子。駐車料金は地域により異なるが、同サービスを使えば、コインパーキングのように満車で駐車できないという事態は避けられる。

拡大の背景にあったのは、入居者の37%が65歳以上の高齢者であるという実態。入居者の家族や介護等の訪問者に対して、公社団地内の駐車場確保は緊急に対応すべき課題だった。

利用希望者は、予約制駐車場マッチングサービス「B-Times」、もしくは駐車場予約アプリ「akippa(アキッパ)」、どちらかへの登録が必要。「介護事業者に限らず、一般の方でもサービスは利用可能です。サービス開始後、公社団地内の違法駐車が減り、地域の生活の利便性向上にも期待が寄せられています」と同社の担当者は語る。

外国人観光客が選ぶ無料観光スポットに アサヒビール吹田工場が大阪で唯一のランクイン

世界各国800万以上の宿泊施設、航空会社、観光名所、レストランを掲載し、7億件以上の口コミが寄せられる世界最大の旅行サイト、トリップアドバイザー。同サイトの日本法人であるトリップアドバイザー株式会社が過去1年間に投稿された口コミをもとに「旅好きが選ぶ無料観光スポット2018」を発表した。関東にあるスポットがランキングの過半



アサヒビール発祥の地として、100年以上の歴史を持つ吹田工場。

数を占める中、大阪で唯一ランクインを果たしたアサヒビール吹田工場が、昨年さらに順位を上げ11位に選ばれた。同工場ではアサヒビール発祥の地として操業開始当時の写真の展示や、当時の建物の一部も貴重なモニュメントとして残されており、ワールドビアカレクション展示コーナーも見学できる。案内係による製造工程やミニ知識の紹介の後、できたてスーパードライの試飲ができ、利用者から人気を集めている。国内のみならず外国人観光客も多く訪れているため、申し込みは予約制・先着順となっている。工場見学の申し込みはWEBまたは電話にて受付。アサヒビール吹田工場06-6388-1943。

「滝ノ道ゆずる」が ゆるキャラ®グランプリ2018で全国5位

箕面市PRキャラクター「滝ノ道(たきのみち)ゆずる」が、11月に東大阪市で開催された「ゆるキャラ®グランプリ2018」で全国5位に入賞した。昨年の9位から順位を上げ、3年連続トップ10入りという快挙だ。「滝ノ道ゆずる」は、箕面のゆずと、もみじの里をPRするために生まれたゆずのキャラクター。様々な

授賞式の様子。約3か月のインターネット得票数と、投票会場での得票数を合計した結果、19万2326票を獲得した。



グッズも販売しており、来春には新たにぬいぐるみストラップも発売予定。市の担当者は、「夏はラジオ体操に参加したり、秋は駅前で見学客をお迎えしたり。日頃の活動が、今回の応援につながったと思います。箕面市への愛着につながってほしい」と、話す。

豊中市が「居住支援協議会」を 大阪府内の市町村で初めて設立

豊中市は11月、住宅確保が困難な人に対して民間賃貸住宅への入居支援を行うため、福祉事業者団体や不動産事業者団体と「豊中市居住支援協議会」を設立した。大阪府内では初めての試み。同市在住、在勤、在学中の低額所得者や高齢者、障がい者、被災者などで、住宅確保が特に困難な人に、入居相談や物件紹介などを行い、民間賃貸住宅に円滑に入居できるよう支援する。また、独居高齢者などへの見守りや安否確認などの居住支援サービスなどの情報提供も行う。なお、物件の内覧や賃貸借契約については、

相談窓口は、豊中市役所第二庁舎5階。入居希望者の状況を把握している支援者の同行が望ましいとしている。

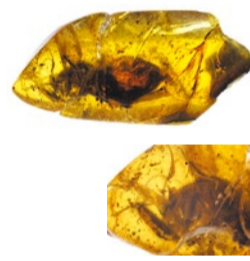


連携する不動産事業者が実施する。担当者は、「入居希望者のほか、空き家などをお持ちの、家主の方からの相談も受け付け、賃貸借における双方の不安解消につなげていきたい。今後はセミナーなども積極的に行い、この取り組みの輪を広げていくよう努めます」と、さらなるサービスの充実を図りたいとしている。相談は面談を通して行う(無料・要電話予約)。問い合わせや面談予約など詳細は、豊中市居住支援協議会06-6858-2742まで。

日本唯一のカマキリ化石は新種の昆虫だった! 箕面公園昆虫館 館長らが発見

箕面公園昆虫館の館長 中峰空(ひろし)博士らの研究チームの調査により、日本で唯一のカマキリ化石だとみられていた昆虫化石が、新属新種の昆虫であることが判明した。アミメカゲロウ目トガマムシ科で、現生種はサハラ砂漠以南のアフリカ大陸に13種が分布しているのみ、東アジアでは初の記録だ。この化石は、2006年に岩手県久慈市の地層にある琥珀から発見され、日本で唯一のカマキリ化石だとされてきた。今回、中峰さんらがカマキリの書籍を作ろうと様々な文献を読んでいた中で、久慈のカマキリ化石は未研究であることを知り、調査に入ったのがきっかけ。

動物分類の国際学術雑誌「ZooKeys」で発表し、和名を「クジコハクトガマムシ」、学名を「Kujiberothera teruyukii(クジベロウサテルユキイ)」と命名記載した。標本は、岩手県久慈市の久慈琥珀博物館に収蔵、管理されている。中峰さんは、「今回の発見で、昆虫化石の研究がさらに進展することを期待します」と話す。



幅約19mmの琥珀の中に保存されている標本(上)。体前方左側面の拡大。触角は数珠状で50節以上から構成されていることなどが判明した(下)。

服部緑地公園に 期間限定の釣り堀 開業

豊中市の服部緑地公園に、期間限定で釣り堀「服部緑地ウォーターランド フィッシングパーク」が12月10日に開業した。冬期は使用しない公園のプールを有効活用するもので、西日本では初めての試み。テニスや釣糸などを製造・販売するメーカー 株式会社ゴーセン(大阪市)が、釣事業の市場拡大を目的に始め

利用料は、2時間券 高校生以上1,500円～、中学生以下1,000円～。小学生未満は無料。用具のレンタルや釣った魚を持ち帰ることも可能。問い合わせなど詳細は、同パーク06-7175-7673



た。同社の担当者は、「同公園は、認知度も生活利便も高い公園であることが決め手となった。これをきっかけに、関西の釣り人口が増えると嬉しい。今後は、継続的に毎年行っていきたい」と話す。釣り堀としての利用は、3月31日まで(12月29日～1月3日休館)。

ひったくりの被害に遭わないために

協力:大阪府警察



大阪府下のひったくりの件数は年々減少傾向にあるものの、平成29年中は646件、平成30年10月末時点では369件発生しており、どちらも全国ワーストの発生件数となっている。

中でも20代女性の自転車前かごからの被害が多くなっており、18時～深夜1時の暗い時間帯で最も多く発生している。ひったくり被害に遭わないために、4つのポイントを実践しよう。

【ひったくり被害に遭わないための4つのポイント】

- バッグは、車道と反対側に持とう
- 携帯電話・音楽プレーヤーを利用しながらの通行はやめよう
- 時々後ろを振り返り、不審者等いないか確認しよう
- 自転車の前かごには、ひったくり防止カバーを取り付けよう

大阪府警察では毎月11日を「ひったくり防止デー」とし、防犯キャンペーン等行っている。少しの注意と自主防犯対策を推進することで、被害に遭わないよう心がけよう。